

- (一) 生徒指導の機能を生かした授業の実践
  - (1) 人間的ふれ合いが感じられる場を大切にするため、次のような点に力を入れてきた。
    - ・ どんなにたどたどしい発言でも学級全員が、心を込めて聞いてあげる。
    - ・ グループ学習では、だれに対しても公平に接し、相手を認め、温かな気持ちで励ましてやる。
    - ・ 教師は、教育相談の態度で接する。
  - (2) 所属感を満たすことのできる場を設定することに努めてきた。
    - ・ 小集団による話し合い学習を充実させ、相手とのかかわりで自由に発表できるようにする。
    - ・ 自分の考えや気持ちを自由に表現できる技能と雰囲気づくりを指導する。
    - ・ 個々の考えを全体に生かす話し合いや板書等の工夫をする。
    - ・ 賞賛や励まし等、支持的雰囲気醸成を図る。
  - (3) 一人一人に自己決定の場を与える指導過程の改善を試みた。
    - ・ 自らの課題を持たせるための事象や問題提示の仕方を工夫する。
    - ・ 自己の学習課題に向かって、自分なりの解決の見通しや方法を駆使する自由試行の時間、すなわちひとり学習の場を設定する。
  - (4) 一人一人の成就感・達成感を高める工夫に努めた。

### 資料1 学習訓練の基本

段階	目的	内容	生徒指導との関連
見通す	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習内容を洞察する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自ら課題をとらえる</li> <li>・ 予想をたてる</li> </ul> </li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 課題の発見方法、着眼点、教科教材の本質のつかみ方の訓練をする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自己目標を決め、解決への意欲と内容の見通しを立てる。 〔自己決定〕</li> <li>○ 事物、事象に反応する。 〔感受性〕</li> </ul>
調べる(ひとり学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自力でどこまで解決できるか全力をふるって解決に取り組む。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自由試行</li> </ul> </li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 課題をしっかりとつかんで学習方法の順にしたがって学習する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習方法、準備物の確認</li> </ul> </li> <li>② 能率的な学習の仕方の訓練をする。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の立て方</li> </ul> </li> <li>③ 疑問点、困難点を明らかにする。</li> <li>④ 一人学習した結果をノートに能率的にまとめる訓練をする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自らの課題に向かって根気よく追求しようとする。 〔根気、集中力〕</li> <li>○ 自主的、自発的に取り組もうとする。</li> <li>○ 自らの考えに従って活動する。〔自己決定〕</li> </ul>
みがきあう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相互協力によってどこまで解決できるか全力で解決し、その後に指導を受けるようにする。</li> <li>○ 自分の学習したことをみんなの前でわかるように発表する。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞く・話す</li> </ul> </li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 課題や解決の手だてを明確に意識させ、教材、事実、現象、資料、生活等にかえて解決を図るようにする。</li> <li>② 自分の学習したこと(わかったこと、やったこと、できたこと)についてわかるように説明する訓練をする。</li> <li>③ 底辺の児童の発表をできるだけ取り上げ、心から協力して相互の力で自力解決を図る訓練をする。</li> <li>④ 自分の学習したことについて、疑問点、困難点、問題点をみんなに発表する訓練をする。</li> <li>⑤ 質問や意見に対して、自分の考えたことをわかるように発表する訓練をする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人間的なふれ合いを大切にする。</li> <li>○ 勇気を持って自己表現する。〔表現力〕</li> <li>○ 共に高め合い、共に学ぶ喜びを感得する。 〔学習集団〕</li> <li>○ 一人一人の自己存在感や成就感、達成感を高める。</li> <li>○ 個を集団の中に生かす発問や手だてを工夫する。</li> <li>○ 支持的雰囲気醸成</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習結果を整理し、会得した学習内容と方法を確認する。</li> <li>○ 残された問題と発展的に解決すべき課題確認をする。</li> <li>○ 児童に解決の方法、順序を考える力を育て課題解決への意識を高める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 教師が教えるべき事項、考えさせるべき事項、わり上げるべき事項、つくらせるべき事項、表現させるべき事項等を区別して指導ができるようにする訓練と指導。</li> <li>② 学習結果の整理の仕方の訓練をする。</li> <li>③ 次時の課題のつかみ方の訓練をする。</li> <li>④ 学習計画の立て方、学習方法の順序の立て方の訓練をする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次の課題を連続的に探求しようとする意欲をもつ。〔追求力〕</li> </ul>

- ・ 指導と評価の一体化を図る。すなわち児童に学習の過程や結果を自己評価させることで、達成感を持たせる。さらに教師の受容・賞賛や励ましによって、成就感を一層増幅させた。
- (5) 学級集団を学習集団に高めることに努めた。
  - ・ 各学級で児童とともに「求める授業像」を設定し、全員で真剣に

#### 授業」 学習訓練の基本

画一化を図るのではなく、発達段階や学級の実態に応じて、生徒指導との関連を考慮し、指導段階毎の学習方法訓練をしてきた。(資料1参照)

#### 生活部

- (一) 自己コントロールでできる生活態度